

日本頭痛学会および頭痛関連年表

西暦	内容
1940	頭痛学元年 RayとWolffが頭蓋内疼痛感受組織の研究を発表。Wolffが頭痛を体系化
1953	Watson, Crick: DNAモデルの発表(Nature)
1959	AASH(The American Association for the Study of Headache)設立
1961	Headache誌の第1巻発刊
1961	ソ連有人人工衛星第1号
1962	Ad Hoc Committeeの頭痛分類、世界共通の頭痛分類できる。Friedman, Wolffら4名が委員。機能的頭痛は片頭痛と筋収縮性頭痛
1962	日本麻酔指導医制度(我が国の専門医制度の嚆矢)開始
1964	予防薬methysergide
1964	予防薬cyproheptadine
1966	予防薬propranolol
1969	Surveyer I 月面軟着陸
1969	The Migraine Trustの機関誌Hemicraniaの創刊
1969	喜多村孝一教授東京女子医科大学就任
1970	Headache Clinicの勃興
1973	第1回頭痛懇談会(会長:加瀬正夫・喜多村孝一)開催
1973	第一次オイルショック
1973	予防薬amitriptyline
1975	種々の基幹学会が独自の認定専門医制度発足へ
1981	予防薬flunarizine
1981	International Headache Society(IHS)の機関誌Cephalalgia第1巻発刊
1981	学会認定医制協議会(後に専門医認定制協議会)発足
1983	International Headache Congressがミュンヘンにて開催(以後 奇数年に学会会議が開催。偶数年にはMigraine Trustを開催)
1985	第13回頭痛研究会と頭痛懇談会から名称変更される
1985	予防薬naproxen
1988	国際頭痛分類初版発表
1990	トリプタン製剤がFDAより承認
1991	予防薬magnesium
1992	予防薬valproate
1995	喜多村孝一教授没
1995	予防薬lomeperazine
1996	喜多村賞始まる
1996	familial hemiplegic migraineの一部家系から原因遺伝子発見(FHM gene)
1996	有限責任中間法人日本頭痛学会設立(理事長:濱口勝彦先生)
1997	日本の全国規模の頭痛疫学調査
1997	第25回日本頭痛学会開催(頭痛研究会から名称変更される)
1998	日本頭痛学会のロゴ(桑沢二郎先生)
1998	予防薬riboflavin
1998	慢性頭痛友の会開設
1999	塩酸ロメリジンの発売
2000	坂井文彦理事長(濱口勝彦先生より引き継ぐ)
2000	トリプタン皮下注射発売
2000	米国神経学会片頭痛EBMガイドライン2000
2001	トリプタン以降の頭痛診療の発展・普及
2001	migrainium
2001	専門医認定制協議会発足(学会認定医制協議会から)
2001	トリプタン経口薬発売 片頭痛治療元年
2001	日本頭痛学会ホームページ開設
2002	日本神経学会慢性頭痛ガイドライン2002
2002	厚生労働大臣告示「広告可能な専門医資格を認定する団体の外形基準」
2002	中間法人日本専門医認定制機構発足
2004	国際頭痛分類第2版の翻訳
2005	日本頭痛学会専門医制度認定開始
2005	第12回国際頭痛学会を京都で開催(The 12th International Headache Congress in Kyoto)
2005	国際頭痛分類ポケット版発刊
2005	慢性頭痛の診療ガイドライン発刊
2005	片頭痛スクリーナー発表
2005	国際頭痛分類第2版(ICHD-II)「薬物乱用頭痛」診断基準改定版
2006	慢性頭痛の診療ガイドライン 医学書院より発刊
2006	第1回日韓頭痛学会開催(ソウル・3日間)
2006	本学会が中間法人日本専門医機構に入社
2006	慢性頭痛ガイドライン市民版「これで治す最先端の頭痛治療」
2006	中間法人日本専門医認定制機構ヒアリング
2006	専門医認定制機構加盟
2006	慢性片頭痛と薬物乱用頭痛の付録診断基準の追加
2007	専門医認定制機構ヒアリング
2007	スマトリプタン皮下注3mg製造販売承認(2008年発売)
2008	日本専門医認定制機構による専門医制度についてのヒアリング
2008	頭痛専門医第1回認定試験実施
2008	American Headache Society 50周年
2008	社団法人日本専門医評価・認定機構発足(中間法人日本専門医認定機構から改組)
2008	頭痛専門医担保試験実施
2009	厚生労働省に広告可能な専門医申請(日本専門医評価・認定機構にて審査中)
2009	第1回ARCH(The Asian Regional Conference for Headache)を宇都宮にて開催
2009	一般社団法人日本頭痛学会発足
2010	日本頭痛学会ホームページをリニューアル
2010	日本頭痛学会ニュースレター創刊
2010	Headache Clinical & Science発刊
2012	一般社団法人日本頭痛協会発足(代表理事:間中信也先生)
2013	HISとJHSとの主催によるHeadache Master School 2013 in Asiaを東京で開催
2013	「慢性頭痛の診療ガイドライン 2013」を医学書院より発刊し、日本頭痛学会web siteに掲載
2013	Cephalalgiaに国際頭痛分類第3版(β版)掲載
2014	Headache Master School Japanを大阪と東京で開催
2014	医学書院より国際頭痛分類第3版(β版)日本語訳発刊